

平成 27 年度 第 4 回 JBA公認コーチ リフレッシュ研修会 開 催 要 項

下記のとおりJBA公認コーチ対象の研修会を開催します。今回の研修は日本体育協会指導員 義務研修を兼ねます。

1. 目 的：公認スポーツ指導者（コーチ）の資質向上を図り、バスケットボール競技の技術の向上及び普及振興に資すること、並びに指導者相互の情報交換を図ることを目的に開催する。
2. 日 時：2月13日（土）13:00～16:30 （受付 12:30～13:00）北谷高校体育館
当日の申し込みはできません。TeamJBA より各自申し込んでください。
3. 場 所：北谷高校体育館
4. 対 象 者：①平成 27 年度 JAB 公認コーチ資格を有する者。（B～D 級コーチ）
②ポイント不足のため H27 年度に資格更新できなかった者。（リフレッシュ研修会・養成講習会）
※資格保有者以外はご遠慮ください。
5. 内 容：基本技術の習得方法や技術指導の着眼点を学ぶ
6. ポイントについて：3 時間の受講で 2 ポイント加算されます。（但しレポート提出の義務有り）
※受付の際に「登録証」を提出して下さい。確認作業がございます。途中退出される方は必ず受付にお立ち寄り下さい。お帰りの際に「登録証」を返却します。
※レポート提出があります。（筆記用具持参をお願いします。）
7. 参 加 費：無料
8. 申込方法：1月21日(木)18:00～2月10日 8:59 までに
TeamJBA マイページ→講習・研修会→講習・研修会一覧→希望する研修会を選択・
申込状況確認方法…講習・研修会申込履歴から各自で確認できます！

9. その他 コーチ登録規程 http://www.japanbasketball.jp/jba/pdf/kiyaku/coach_registration.pdf

【参考資料】日本バスケットボール協会HPより抜粋

<登録有効期間>

第6条 登録有効期間は、1年間（4月～翌年3月）とする。但し、JBA公認E級コーチについては有効期間を設けないものとする。

2. 前項の更新にあたっては、過去4年間のうちにJBA又は都道府県協会、日本体育協会が主催する研修会に参加し、所定のポイントを獲得しなければならない。

3. 有効期間内に、更新を行わない場合には、コーチライセンスを失う。但し、JBAが特に認めた場合は、期間を過ぎても登録することができる。

<リフレッシュ研修>

第7条 コーチライセンス取得者（JBA公認E-1級コーチ、JBA公認E-2級コーチを除く）は、JBA又は都道府県協会の定めるリフレッシュ研修を受講することによって、指導者としてのレベルアップに努めなければならない。また、リフレッシュ研修はポイント制とし、所定のポイントを獲得しなければならない。

2. ポイントの有効期限は4年間とし、更新の際に必要なポイントは2ポイントとする。

但し、コーチライセンス取得後3回目の更新まではポイントの獲得を免除する。

3. リフレッシュ研修のポイントは以下のとおりとする。
 - (1) 1. 5時間の研修会：1ポイント
 - (2) 3時間の研修会：2ポイント
 - (3) JBA又は都道府県協会が指定する試合観戦及びレポート提出：1ポイント

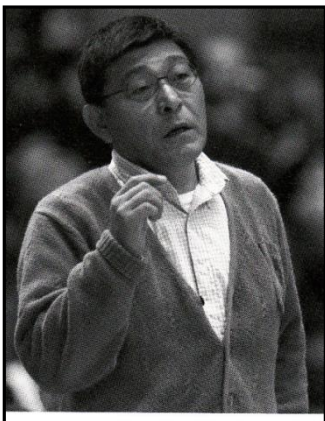
4. 次の要件を満たすコーチは、ポイントが加算される。
 - (1) 各カテゴリー日本代表チームのコーチングスタッフ：1ポイント/年
 - (2) エンデバーコーチングスタッフ：1ポイント/年
 - (3) コーチ養成講習会及びリフレッシュ研修の講師：1ポイント/1回

義務研修について

- ・リフレッシュ研修（義務研修）...4年間で合計2ポイントを取得するリフレッシュ研修会等を受講することが義務付けられています。研修会等のご案内は（JBAや県バスケットボール協会より）年に数回通知がありますが、その全てのリフレッシュ研修（義務研修）等を必ず受講しなければならないということではございません。 また当然のように義務研修（リフレッシュ研修）の多数の参加も可能です。

10. 講師紹介：

講師：佐藤 久夫（さとう ひさお）



宮城県仙台市出身。日本体育大学卒業後、宮城県内の公立高校で女子10年間、男子4年間の指導を経て86年に母校の仙台高校に赴任。以来チームを常に全国上位に導き、99年のウインターカップで初の全国制覇。2000年は国体とウインターカップの2冠に輝いた。96年～2002年、2010年～U-18日本代表ヘッドコーチを、務める。02年には仙台高校を退職し日本協会本部付専任コーチとなり、エンデバー制度の一貫指導システムを作成。現在は仙台大学教授として「コーチング特論」の講義等を受け持ち、明成高校のコーチとして指導を続けている。創部間もなく全国大会常連校としての地位を築き、2009年ウインターカップでは創部5年目にして優勝を遂げ、2010年沖縄インターハイでは準優勝の成績を残している。第22回FIBA ASIA U-18男子選手権大会ではヘッドコーチとして日本代表を2大会ぶりのベスト4に導いている。記憶に新しいところでは、2015インターハイ優勝、2013～2015年ウインターカップを3連覇しその卓越した指導力で長年注目されている。

2. 指導実習【memoφ(.)メモメモ】

